



令和6年度(2024年度) 茅野市立東部中学校 グランドデザイン

【茅野市教育の基本方針】
「みんな同じ」から一人ひとりの
多様性と力を伸ばす教育へ

自分の人生
自分たちの生きていくまちの未来を
思い描くことも

【茅野市小中一貫教育のねらい】
自ら学び、高め合い、
共に生きる力を育む

【学校内での学び】
◇生き方教育 ◇調べる学習コンクール
◇読書・図書館教育 読み聞かせ
◇キャリアパスポート ◇ICT 教育
◇縄文市民科 ◇特別支援教育

《東部中学校区 9年間の教育目標》
友や地域と共に、心豊かに、
夢の実現に向けて努力する子どもの育成

【学校外での学び】
◇公共施設主体の教育 ◇市立図書館
◇プログラミング教育
◇茅野市スポーツ推進計画
◇市民と連携した学び 等

縄文のビーナスプラン
多様性を包み込む学びの場
一人ひとりの個性の輝き
個別最適な学び・協働的な学び

【めざす子どもたちの学び】

- 一人一人の興味・関心を中心に据える。
- その子なりの学び方・追究の仕方の尊重。
- 発達障がい、特性のある子どもへの支援・対応の充実。
- 特異な才能を持つ子供たちの力の伸長。
- 小中一貫教育の更なる推進。

【学校教育目標】

「豊かな人間性と創造性を培う教育」

『**開拓**』: 自己実現を目指し、進んで創造し実践しよう。
『**敬愛**』: 自他の人格を尊重し、互いに認め合う敬愛の心を持とう。
『**連帯**』: 互いに協力し、高め合える人間関係をつくろう。
『**感動**』: 美しさに共感する豊かな感性を養おう。

【学びの場の保障】

- 子どもサポートセンター、子どもサポートコーディネーターの充実。
- 一人ひとりに開かれたサポートルームの充実。
- 市教育支援センター、学校外の学びの場との連携
- 様々な学びの場に対応した「評価」の充実。
- CSの仕組みを活かした地域連携。

【本年度の重点（学校経営方針）】

「幸 動」 [こうどう]

～ひろげよう つながろう ふかめよう～
自分から・凡事徹底・利他心

- 自ら学びに向かい
友と深め合う豊かな学びの構築
学びの確かさ・豊かさの確立

- 自分を大切に
温かい他者意識のある仲間づくり
温かく豊かな心の伸長

- 地域の一員として
地域づくりに参画できる生徒
郷土愛（市民性）の育成

＜ 学びの確かさ・豊かさの確立 ＞

- 「学び」の「わくわく感」を中心に据え、自分らしく、友と共に学びを豊かに深める授業づくり。
- 多様な学びの場において、その子らしく学びに向かえる指導・評価の推進。
- 豊かな学びの土台となる読書図書館教育・調べる学習の充実。
- 個々の障がい・特性に寄り添った特別支援教育の充実。
- 主体的に取り組み、必要な学力の定着が図れる家庭学習の充実・改善。
- 全国学調・校内テスト等による、学力の評価・分析と授業改善を通したさらなる学力の向上。
- 全職員が行う日常的な授業公開を通して、生徒の具体の姿から授業改善を推進。
- 個別最適な学び・協働的な学びをより推進するための ICT 機器の有効活用。

＜ 温かく豊かな心の伸長 ＞

- 「いしずえタイム」の人間関係づくりの活動や情報モラル教育の継続的な実施による、多様性と包み込み、自他を認め、安心して生活できる学校づくり。
- いしずえの時間（相談の時間）や生活アンケート等を活用し生徒一人ひとりと職員との日常的な繋がりの確立。
- 道徳を要として、学校の教育活動全体を通じて、豊かな心や創造性の涵養を図る。
- Q-U や各学期の生活実態調査などを通して、生徒の実態を客観的につかみ、よりよい関係づくりを推進。
- 校内こどもサポートセンター、サポートルームや相談室、「育ちあいちの」等と連携した個に応じた支援の充実。

＜ 郷土愛（市民性）の育成 ＞

- DX の仕組みを活用し、コミュニティ・スクールを通して、地域の人材の協力を得た学び、キャリア教育・生き方教育の推進。
- 生徒会・地区生徒会の仕組みを活用した地域とのつながりと DX の仕組みを活用した地域への発信等、主体的な地域との関わり、地域連携の推進。
- 地域を知り、地域のひと・こと・ものと繋がり、地域のために出来ることを考える縄文市民科の充実。
- キャリアパスポートの活用による自分の未来への希望・願いの涵養。
- 防災・玉川ケヤキフェス・槻木廻り舞台・各種ボランティア等地域コミュニティへの主体的な協力。

その子らしさ・その子の力・興味関心・課題意識

子ども理解 ・ 子ども支援 ・ 発達支持的生徒指導